



プロバスだより

2017年3月9日発行

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

東京八王子プロバスクラブ

第256号

編集・発行：情報委員会

創立 1995年 10月 18日

2016～17年度テーマ **新鮮な全員参加の輪を広め 夕焼けのまち永久に照らそう**

第 256 回例会

日 時:平成 29年 2月 9日 (木) 12:30～14:30

場 所:八王子エルシィ

出席者:58名 出席率 92.1%

(会員総数 67名 欠席 5名 休会 4名)

1. 開 会 宮城例会委員長

第 256 回例会を開催します。(配布資料の確認)

2. 挨拶 岩島 会長



立春とは言え今が一番寒い中、お集まりくださり御苦勞様です。1カ月振りに皆さんとお会いするわけですが、この1カ月はいろいろなことがございました。久しぶりに日本人横綱が誕生しました。一方、世界中がトランプさんに翻弄されているような、そんな気も致します。

当クラブにおきましては、昨年暮れから年初にかけて心痛む出来事があり、また、このところ体調を崩されて休会される方がやや増えています。どうか皆さん、健康には十分留意され、ご自愛して下さい。

さて、今日は今期二人目の新入会員をお迎えすることが出来ました。大変うれしいことでもあります。杉山会員のご紹介による井上^{すぐる}克様であります。後ほど紹介と御挨拶をお願いいたします。

そして今日の卓話は、一瀬会員より大層面白そうな演題のお話が聞けそうであります。楽しみにしております。

話は変わって、いよいよ今月から当クラブの主たる事業である生涯学習サロンが始まります。地域奉仕委員会の皆様を主体とする大変なご努力で順調に準備が進められており、一般会員の応募者も皆様の

お力を得て 100名に近い盛況であります。

この事業が実り多いものとなりますように、講話をして下さる方、お客様を接待される方、そのほかいろいろな仕事をして下さる方々、それぞれが自分の持ち場をしっかりと受け持ってくださいませ、よろしくお願い致します。

この事業の大きな特徴は、第一に我々自身が話し手となること。第二に話し手の一方通行ではなく、聞き手との相互通行であるサロンであることです。生涯学習はいろいろな所で行われていますが、この二つのことは、あまり他所では見られないことでもあります。この特徴を真に活かすためには、話し手や司会者は、サロンであることを心して、皆様の心を引きつけ、相互のコミュニケーションと言いますか、気楽に対話出来る様な、楽しくなる雰囲気作りをお願いしたいと思います。

3. 新入会員紹介

紹介者の杉山会員より、井上 克 (いのうえすぐる) 新会員のご紹介がありました。(会員番号 143 所属 会員委員会)

先月お目にかかった橋本晴重郎さんが、ご病気の関係からメンバー復帰は無理とのことで、今回改めて、警察のOB分野から推薦をさせて頂きました。

お仕事は警視庁本部の検視官、鑑識のプロフェッショナルです。1970年の三島由紀夫の割腹事件など、歴史に残るような事件の経験も大変豊富です。平成10年に東村山警察署長を退官されて後、資生堂広報部に9年、更にその後はサン・ライフグループ、その特別顧問の職が既に9年となりました。

お住まいは相模原です。ご趣味は、囲碁、ゴルフ、家庭菜園との事ですので早速クラブ同好会でもご活躍頂けることと存じます。

どうぞ皆様よろしくお願いいたします。

井上 克新会員のご挨拶



ご紹介頂きました井上でございます。

警視庁の刑事一筋、それも鑑識課刑事ということで務めてまいりました。

杉山様のご紹介で加入させて頂きました。どうぞよろしくお願い致します。

4. ハッピーコイン披露

武田副会長からハッピーコイン 12 件の披露がありました。(5~6 ページに掲載)

5. パースデーカード贈呈

2 月生まれの根本洋子会員、鈴木会員のお二人に、池田会員お手製のパースデーカードが会長から贈られました。



岩島会長と根本洋子会員、鈴木はるみ会員

6. 卓話

『たかが金・されど金』 山師のたわ言

一瀬 明 会員

昨年の 2 月に当クラブに入会させていただいてちょうど 1 年になります。その節目に卓話を、と池田会員からドキッとのお声かけをいただいた時、頭



に浮かんだのが山師のはしくれとして「金」をテーマに戯言を述べてみようということでありました。

たかが金、されど金。人類が古くから金に魅せられてきた所以を語りたいと思います。

まず「たかが金」であります。金は金属モデルであらわされるごく普通の金属の一つであり、周期律の 79 番目におさまっています。ただ量は圧倒的に少なく(クラーク数で 0.004 ppm)、これまでに人類が手にした金の総量はオリンピックプール 3.7 杯分、

18 万 6 千トンでしかありません。しかし「されど金」です。古来いつまでたってもその輝きを失わない神秘性は、不老不死や豊かさの象徴となり、古代人の金へのあこがれは



いつまでも燦然と輝く金 太陽と金と同じ神聖文字(カットの二重丸)であらわされたことからもうかがわれます。また金にまつわる数多くの遺産や伝説を残してきました。



そもそも金は宇宙からの贈物です。地球環境の条件下では生成され得ません。46 億年前に地球ができる過程で合体した星からやってきたものと考えられます。地球内部のマグマと

熱水が合わさるという条件がそろった場所で人間がそれを手にすることができました。金を初めて手にしたのは一般的には B C 3000 年頃で、今日まで 5000 年の歴史を持っています。

今、世界で金を一番多く生産しているのは、かつての金王国の南アを追い越した中国です。日本には現在鹿児島の大畑山しかありません。大畑での金の発見はいろいろと幸運な条件に恵まれて初めて実現しました。「千三つ」の世界を「積善の余慶」が可能ならしめたのです。

その使われ方の多さの第 1 番目はなんといっても宝飾品です。純金(24K)は柔らかすぎるので、銀や銅を混ぜて微妙な色合いのゴールドを作ってきました。次が貨幣です。貨幣としては銀のほうが先輩です。銀の後、金は金本位制として 19 世紀以降、先進国で定着しましたが、1971 年のニクソンショックで終焉を迎えました。今や金は投資のウエートが高まっています。機関投資家(含ファンド投機マネー)・各国中央銀行・個人などがプレーヤーですが、金価格は金利、為替、政治リスクなどで過去に大きく変動してきましたし今も続いています。日本では工業用(特に電子部品)にも金が多く出まわっているのが特徴です。



世界一高品位の大畑金鉱石

現在の金鉱山の操業は品位低下や環境悪化、コスト

増などで厳しくなる一方ですが、幸い金は朽ちることがありません。従ってこれまでに使われてきた金をリサイクルする(これを都市鉱山と呼んでいます)手が残されています。現状では年間で鉱山産 3,000 トン、リサイクル産 1,000 トンぐらいの割合といわれています。

以上金についてあれこれとお話しをさせていただきましたが、私の心は「たかが金」ではなく、あくまでも「されど金」であります。

7. 幹事報告

飯田幹事

1) 新会員井上様のご入会を嬉しく思います。早く皆さんとの交流を深め、プロバスライフをエンジョイして下さい。

2) 転送電話にはサロンに関する申し込み依頼の他、サロンに関する質問などが沢山入ってきています。サロン申込者から「とても楽しいと友人から誘われました」とのお話もあります。



3) Dr.肥沼の件です。寄付金申込書を置いておきますので、さらなる寄付のご協力をお願い致します。現在プロバス会員としては 11 名 87,000 円が入金されております。

このほかにもプロバスクラブと記載しない方もいらっしゃるのではないかと思います。振り込み用紙には「八王子プロバスクラブ」と記入してください。

8. 各委員会活動報告

(1) 例会委員会

宮城委員長

第 256 回例会の出席状況の報告



(2) 情報委員会 有泉委員長

「プロバスだより 255 号」お手元にお届けいたしました。今回は東山委員が編集を担当されました。



今号では 12 月に急逝されました小林時雄会員を偲びまして、ご友人のお二人とゴルフ同好会の方々に追悼の言葉を寄せて頂きました。

(3) 会員委員会

土井(雄)委員長

先ほどご紹介がありましたように大変喜ばしいことに井上克氏が入会されました。今期、白柳氏に続いて二人目です。一日も早く馴染まれて、プロバスライフを楽しんでいただきたいと思います。なお、休会中だった荒会員は残念ながら昨年末をもって退会されました。



休会されている会員は竹内、岡本、米林、阿部幸子さんの 4 名です。

(4) 研修委員会

池田委員長

今月の卓話も興味深いお話でした。



次回 3 月例会の卓話は八王子に誕生したプロバスケットボールチームのご紹介をします。ご声援をよろしくお願い致します。

(5) 地域奉仕委員会

持田委員長

1) 皆さまのご協力を頂きまして生涯学習サロンの準備は順調に進んでおります。昨日までの一般参加者は 98 名になっており、昨年の実績を上回っております。入金済みも 96 名ということです。



2) いよいよ開講式が 2 月 23 日に行われます。八王子市長はじめ来賓が多数参加されます。

それぞれの委員会ごとに手分けした役割に従ってそのつけない対応でお迎えしたいと思います。よろしくお願い致します。

特別講話の宮岡先生にお計らいを頂きまして、南極の氷と越冬隊が着用した防寒服を展示できるようになりました。会場入り口において参加者が手で触れ、この機会に極地について少しでも関心をもって頂ければありがたいと思っております。

3) サロンへの参加の状況ですが、今回は「江戸しぐさ」と「美と健康」が極めて多く、続いて中国関係、病院の活用、映画と音楽、絵手紙などとなっております。楽しいサロンにしていきたいと思っておりますので、よろしく皆さまのご協力をお願い致します。

(6) 交流担当

浅川理事



近隣3クラブの忘年会、新年会の交流も終わりました、いよいよ生涯学習サロンが始まります。今年は多摩PCの会員の方が、話し手として参加してください。さらに、一般サロン会員

としても御出席をお願いしておりますので、これが進みますと、楽しいプロバスの輪が益々広がるだろうと期待しております。

(7) 八王子「宇宙の学校」 下山PJリーダー



「宇宙の学校」の下山です。今月は宇宙の学校は特に報告すべき事項はありません。ただ4月3日(月)に、28年度の反省と打ち上げの会を催すお知らせをご協力いただいた方々にお配り

りました。すべての方には配っていませんが、希望の方はお申し出ください。新年度のスタートの報告を兼ねておこないます。

9. 同好会活動報告

お茶の会

宮崎浩平会員

お茶の会で生涯学習サロンにおいて一期一会と称して茶の会を催すことになりました。

28日の同好会日には全員の出席をお願い致します。

フラダンスの会

根本照代会員

男性会員が2名加入してくださいました。続いたの加入よろしくお願ひ致します。健康にも良く、そして先生も素晴らしい方です。練習後はランチで親睦をはかっています。

古典芸能鑑賞会

内山雅之会員

この度、同好会の認定を頂きました。今年は6月と12月の2回、鑑賞会を予定しています。改めてご案内を差し上げますので是非ご参加ください。

10. その他

Dr.肥沼に関して

岩島 会長

Dr.肥沼の偉業を後世に伝える会からの報告を致します。

この会には当クラブは南ロータリークラブと共に協力団体として参加し、主体は八王子ボランティアネットワークという女性グループです。

12月末までの寄付金額は420万円で、皆様のご協力のお蔭で目標の500万円に早くも近づいています。このうち300万円が募金(人数:2,300人)、120万円がチャリティーイベント(いちょうホールでの「お帰りのさいDr.肥沼」)の収入です。記念碑は麻生石材が請け負い、黒の御影石で造られ費用はおおよそ200万円です。

残りの寄付金は、3月8日に行われる慰霊祭祈念事業としての創価大学生による劇「71年目の桜」上演への支援、絵本の贈呈、紙芝居作成および今後の交流支援に使います。

シニア・ダンディーズの活動報告

団長 立川富美代会員

2006年「はにかみオジサンコーラス」として、八王子プロバスの男性12名で発足しました。指導・伴奏はクラブにとってお馴染みの畑野かな奈さんです。

2010年男声合唱団「シニア・ダンディーズ」として再編成。15名の団員です。

クラブ内外での演奏活動も活発となり、時々ゲストに田中三佐代さん(ソプラノ)、武長秀雄さん(フルート)を招き活動しています。平均年齢も80才を超えましたが、毎週1回の練習の積み重ねの実力で市内の各方面から出演の依頼があります。本年も暮れまでの出演依頼が5回もあり、練習にも熱がはいります。

《活動報告 2016 活動予定 2017》

《クラブ事業協賛》

2016.5 生涯学習サロンさよならパーティ(八王子エルシィ)

《対外活動》

2016.5 八王子南ロータリークラブ 30周年記念祝賀会(京王プラザ)

2016.9 全日本プロバス協議会東日本交流会(京王プラザ)

2016.10 八王子体育協会70周年祝賀会奉仕活動(八王子エルシィ)

2012より2016まで

7回にわたり、高齢者介護施設慰問音楽会《奉仕活動2017年度予定》

2017.3 八王子警察防犯のつどい(いちょう小ホール)

2017.5 生涯学習サロンさよならパーティ(八王子

エルシィ)

2017.7 八王子市制 100 周年記念事業(いちょうホール)

2017.11 「宇宙の日」 賛助出演(いちょうホール)

2017.12 クリスマス演奏会

(高齢者介護施設「檜の里」)

本日の卓話について 佐々木研吾会員

先程の一瀬会員の金に関する卓話は、きわめて内容豊富で、楽しく拝聴いたしました。金と通貨制度についても触れられましたので、若干コメントさせていただきます。

わが国では、明治30年(1897年)から昭和6年(1931年)まで、金本位制度を採用しておりました。この頃のお札(日本銀行兌換券)には、100円券であれば、「此券引換に金貨百円相渡可申候」と印刷されています。その後、昭和初年の金融恐慌からの立ち直り過程で、金本位制度から離脱し、管理通貨制度に移行して今日にいたっています。しかし、金地金は、発行銀行券に見合う日本銀行の重要な資産の一部であることに変わりはなく、今も大金庫に大切に保管されています。私は、現役時代、監事検査に随行した際に一度だけ見たことがあります。

学習サロン茶会 阿部治子会員

お茶の会として生涯学習サロンで茶会を開宴します。名椀、名器をお楽しみ頂きたいと思います。

11. プロバス賛歌斉唱



12. 閉会 武田副会長

1) 新入会の井上さん、お仲間入り大歓迎です。早くプロバスライフに馴染んで頂ければと思います。

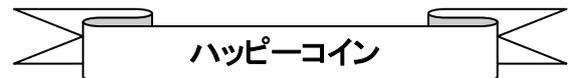
2) 一瀬さんの卓話。金(かね)、いや金(きん)の話、金鉱開拓の苦労話、金とは何かなど、まさに金高騰の折、時節に合ったお話でした。

3) 新たに古典芸能鑑賞会が同好会として申請されました。会員の皆様、例会だけでなく、同好会にも積極的にご参加を頂き親睦を深めてください。



4) 「第67回全関東八王子夢街道駅伝競走大会」が2月12日に開催されます。八王子南ロータリークラブから3チームと根本洋子会員の右田病院のチームが参加。頑張ってください。

これで2月例会を閉会します。



◆本日入会の井上克氏を皆さまどうぞよろしくお願い致します。 杉山 友一

◆本日は新会員として井上克様をお迎えすることが出来、大変うれしく思います。一緒にプロバスライフをエンジョイ出来ますように頑張っていきましょう。 飯田 富美子

◆今年もバレンタインの義理チョコをお届けします。今年一年元気で楽しいクラブ活動を送りましょう。

立川 富美代

◆八王子プロバスクラブに入会させていただいて、今日でちょうど一年になりました。節目に卓話をさせていただきますが、今後共ご指導よろしくお願い致します。 一瀬 明

◆学習サロン一般会員の受付リストを担当しておりますが、本日時点で98名になりました。多くの方に参加いただきありがたいことです。プロバス会員の皆様、御支援有難うございました。 一瀬 明

◆久しぶりで茶の会でサロンでの茶会を開宴します。道具組、会員の方々の稽古と毎日一生懸命です。みな様応援をよろしく御願います。 阿部 治子

◆稀勢の里、春場所優勝！ 19年振りの日本人横綱の誕生。孫が希望の中学に合格した。

目出度し 目出度し。 岩島 寛

◆「聴力」が70%に落ちました。高周波数へ行くほど低くなります。また、癩痕(はんこん)ヘルニアをオペしたので、「腹筋」の使用制限があります。しかし、咽喉にはまだ「テノール」の声があります。因って、「まだ唄える」と頑張ろうと思います。

山形 忠顯

- ◆手術後2年経過の精密検査、何事もなく終わりました。ラッキーでした。 内山 雅之
- ◆お手伝いが中々出来ない事にお詫び申し上げます。 根本 洋子
- ◆今月は上海に行ってきますが、観光場所がなくなってきました。 野口 浩平
- ◆1月、76歳を迎えました。感謝。 武田 洋一郎



盧同の『茶歌』と近代の茶の薬養

阿部 治子



陸羽が『茶経』を著わし、茶そのものを楽しむ文化を確立したのは、唐の時代。平和を誇った玄宗皇帝治世の末期で、安祿山の変などをきっかけに王朝は弱体化しながらも

続いてゆく。日本の遣唐使も、空海や最澄の頃（805年頃）を境に国内に目が向けられることになる。

かろうじて平和を保っていた都、長安では白楽天などの詩人が活躍していたが、この頃古今の絶唱と讃えられる『茶歌』が盧同（794年～835年）によって唱われ、茶の世界に奥行き与えることとなった。

- 一 椀 喉^{こうふん}潤い
- 二 椀 孤悶^{こもん}を破る
- 三 椀 枯腸^{さく}を搜れば 唯文字五千卷有のみ
- 四 椀 軽汗^{へいぜい}発し 平生不平^{ことごと}の事、尽く毛孔に
向って散ず
- 五 椀 気骨^{きこつ}清く
- 六 椀 仙靈に通ず
- 七 椀 喫するを得ず、唯^{おぼ}覚ゆ 両腋^{わき}に習々として清風の生ずるを

蓬莱山 何れの処にか在る

玉川子 此の清風に乗りて帰り去らんと欲す

お茶は一杯飲むと喉が潤い、二杯目で一人思い悩むことがなくなり、三杯目には何の詩想もわかなかった胸中が五千巻もの文字でいっぱいになった。四杯目で軽く汗が出て日頃不平不満だったことが、すべて毛穴から去っていった。五杯目をのむと、身体に清々しい爽やかさを感じ、六杯目を飲んだとき

は神仏の世界に達した思い。七杯目はもう飲むことが出来ず、羽が生えて空を飛んでいるようで、ただ両腋に清風が吹き抜けてゆくを感じるばかりである。仙人が住むという蓬莱山は、一体どこにあるのだろうか。私（盧同）はこの清風に乗って蓬莱山へ行きたいと思う。

茶歌には、単に口腹の養いとしての効能だけでなく、喫茶から哲学、思想、人生をも感にいたれた精神的世界が展開されている。江戸時代、隠元によってもたらされた喫茶の風習は、売茶翁によって広められたが、その中心にあるのは、この茶歌である。

盧同は、小役人として長安に住み、王公貴族しか飲めない陽羨^{ようせん}の新茶を、友人から贈られて、その喜びと感謝を『茶歌』を通じて表しているが、歌の後半では新茶が届くまでに求められた人々の辛苦を思っ彼等に応分の益を期待する旨を、為政者に求め、理想政治をも求める士大夫の本命を示している。

個人の生き方としては無為自然の老荘的なもので、近世の我が国の煎茶は、この盧同の茶精神を継承するものとして誕生し、売茶翁を始め文人達の生き方の中心的理念となったと思われる。



文人が愛好した盧同の銘碗

茶の効能は近年科学的にも立証され、お茶に含まれる「チアニン」は高級なお茶に多く含まれるアミノ酸、うま味成分であるグルタミン酸によく似た構造で独特の甘味を引き出します。チアニンは血流ののって脳に作用、脳がリラックス状態になり自律神経に好影響し、末梢の血管が開き血流アップ、冷え性、高血圧の予防、ボケない体作りにも一役買っています。

ちなみに抹茶には煎茶、番茶の十二倍のチアニンが含まれています。就寝前、緑茶にはカフェインも

ふくまれています。チアニンにはカフェインの興奮作用を鎮める働きもあり、寝付きをよくし睡眠の質を高めてくれます。

急須で淹れたお茶をゆっくり味わうのも日本の文化であってほしいと思っています。

囲碁を楽しむ

吉田 信夫

自分が囲碁をするようになってから、60年以上経つが、今なお平凡な囲碁大好き人間です。



どうしてこのように続いたのか、私の囲碁略歴と囲碁の魅力について触れてみたい。

私の囲碁略歴

自分が囲碁を覚えたのは、中学2年の時だが高校まではほとんどしなかった。学生時代は友達と暇を見つけては囲碁をした。社会人になってからは、職場の囲碁同好会や、町の碁会所に通ったりした。この頃碁会所の席主から「詰め碁を勉強しなさい」と言われ、一時期、基本定石の他、詰め碁に没頭した。これが今の自分の囲碁の基礎になった。現役を退いてから、やや本気で囲碁に取り組んだ。十数年前、八王子地区のトップクラスの人が集まった囲碁研究会に入れてもらい、少し上達した。その頃、父親に連れられて5段だという小学5年の子どもが入会してきた。互戦で対戦したら、最初に勝ってしまった（もしかすると、負けてくれたのかも）。ところが、2度目からは、全く勝てなくなった。同じ5段の父親もかなわなくなった。彼は1局打つ毎に上達し、1年もたたぬうちに、会員の中でもトップクラスの腕前になった。その後、著名なプロ棋士の内弟子になり、院生としてプロを目指した。プロにはなれなかったが、成人して学生チャンピオンになった。自分は「偉大な学生チャンピオンの幼少期に勝ったことがある」と、年甲斐もなく密かに満足している。

その後、プロバスクラブの囲碁同好会と八王子囲碁連盟のサークルで囲碁をするようになった。丁度十年前、八王子囲碁連盟でのタイトル戦で、支部大会・本大会と10連勝して優勝。6段を認められた。この頃が自分の棋力が最も充実していた時期だった。その後は年と共に、棋力が下がり始めた。現在は、そ

れを何とかしようという日々が続いている。

囲碁の楽しみ1

囲碁の面白いのは、盤面全体を眺め、戦略を考えること。局地戦を有利に進めるのは当然として、それを活用して全体を優位に運ぶ等、一手毎に戦い方が変わり、柔軟性に富んでいる。ましてや自分の読み通りに場面が展開した時はこの上なく楽しい。

囲碁の楽しみ2

囲碁は、技量の違う者同士が戦う場合、その技量差に応じたハンデキャップ（最初に石を置く）に無理がなく、勝敗が面白くなる。他のゲームや競技等では、こうはいかない。

プロバスクラブ同好会では、囲碁を更に面白くするために、ハンデに工夫をした。囲碁の技量に応じハンデを持ち点制とし、置石の他、持ち点1点差ごとに上げハマ（石）1個をやりとりし、ハンデの微調整をした。僅差（6目半以内）での勝ち負けではハンデを±1、それ以上の場合は±2の増減とし、ハンデの変化を大きくすると共に、接戦への意欲を持てるよう工夫した。

これにより、ハンデが習熟すると同時に、好・不調の波がよくわかるようになった。

囲碁の楽しみ3

囲碁を打つ人を見ていると、人それぞれ特有の打ち方をする。例えば、全体を見て慎重に打ち進める人、勇猛果敢に戦いを好む人など様々である。

自分は、戦いを好むタイプなので、プロバス同好会で、Bさん、Hさん、Tさん、Yさんのような慎重なタイプの人は苦手で、もう一人のYさんのような力戦型の人には、こちらでも元気がでる。

囲碁の楽しみ4

プロバスクラブ囲碁同好会では、月2回の例会の



プロバスクラブ陣谷温泉一泊囲碁大会

他、年2回、5月と10月に囲碁大会を開いている。

ハンデキャップが適切な為、誰にでも優勝のチャンスがあり、全員がその気になるので、会のマンネリ化を防ぎ、活性化に役立っている。

老後の囲碁1

囲碁は陣とりゲームだが、以前は、1目を目算して、勝敗を争った。今は、どんぶり勘定での形勢判断しか出来なくなった。

また、1局打つのに普通1~1.5時間程かかるが、年とともに、この間集中力が続かず、盤面全体に注意が及ばず、形勢を損じることが多くなった。

老後の囲碁2

現在、ボケ症状が出てくる年齢にも拘わらず、いまだ技量の向上を願い、プロ棋士の棋譜や練習問題に取り組んでいる。

プロ棋士の棋譜の勉強には、ケーブルテレビの囲碁番組『棋聖戦』を録画し繰り返し見ている。この対戦では棋士の打つ時間が一手30秒なので、次の手が打たれる迄に、自分のレベルでプロがどう打つか考える事ができる。また解説が入るので、非常に参考になる。

記録を取る1

最近、先生格の人との碁で棋譜を取ってもらった。帰宅後、その棋譜を盤上に並べ直してみて、自分の打った碁の拙なさに冷や汗をかいた。実戦の時と冷静な時とで、これほどまでに打ち方が違うのかと痛感した。

これを認識・反省することが、棋力の向上につながるが、自らが棋譜を記録しない限りその機会が少ない。

記録を取る2

囲碁は遊びだが、記録を取る事により、遊びにけじめがつく。最近、囲碁の履歴をパソコンに残すようにした。日付・対戦相手・勝負・試合内容のポイントをメモする。記録を見て、好不調の時期や印象に残った試合を思い出すなど楽しみが増えた。

また記録を取るとなると、変な記録を残せないと、丁寧な碁を打つようになった。自分の昨年1年間の囲碁対局数は235局。

1日3局としても70日以上も囲碁に没頭したことになる。やはり自分は囲碁大好き人間なのかもしれない。

俳句同好会便り

私の一句~2月の句会から 河合 和郎

冬から春へ。花咲き鳥歌う俳句の季節がやってきた。最近の句会は、句評、感想、思い出話などに時の過ぎるのを忘れることもしばしば。さて、今月の一句は。

嫺やかに両手差し伸ぶ仏の座 山形 忠顯

春の七草ではなく、春に咲く三界草を指す(仏の座で親まれる)。可憐な花の形を捉えて詠んだ。

無人駅変はらず眠る里の山 東山 榮

ふる里の山を詠う。冬の山は正に眠っているようだ。無人駅にふる里の様子が偲ばれて切ない。

野を駆ける子等の足もと犬ふぐり 矢島 一雄

静と動の取り合わせの妙。犬ふぐりは青い小さな花。野を駆ける躍動的な子供達。視点がいい。

こんな朝もきれいじゃないの霜を踏む 池田ときえ

女性の繊細な感性がないと詠えない一句。中七のセリフが泣かせる。会話調の句は作者の独壇場。

舞ふ雪を盃に受け露天風呂 田中 信昭

何とも贅沢な一句。風呂で体を温め、酒で胃の腑を温め、舞う雪に一句を成す。これぞ俳人冥利。

こくこくと乳吸ふ吾子や初明り 飯田富美子

母親でないとこの句は詠めない。母から子への命の継承。上五の躍動感。座五の初明りもいい。

歓声あがるビルの谷間の雪だるま 立川富美代

今年は大東京にも雪が積もった。珍しさもあってたちまち雪だるまを作る人達。みんなの大歓声が。

海外の鬼ども目がけ豆を撒く 馬場 征彦

色んな国に色んな鬼が居て。穏やかな一年であって欲しいと豆を撒く。日本にも怖い鬼がいるのでは。

蒼天の関八州や初筑波 渋谷 文雄

大きなスケールで新年が詠めた。それにしてもマンションの窓から関八州が望めるとは。

向う疵何ぞこれしき恋の猫 河合 和郎

普段おとなしい猫もこの季節ばかりは小ライオンに豹変。向う疵は男の勲章とは言うものの。

編集後記 6年ぶりに『プロバスだより』の編集を担当しました。以前より、記事をデジタル化し、メールでの交換等、効率化されました。記事の纏め(情報委員長)は以前より良くなりましたが大変です。情報委員会・吉田 信夫